

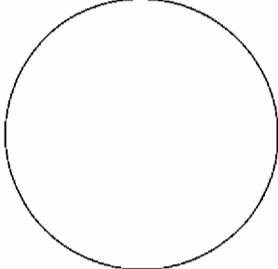
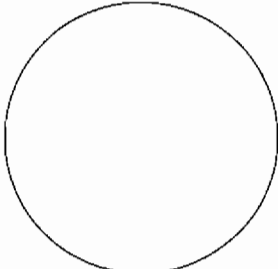
■経営戦略に関する評価指標

指 標	事前評価	評 価	分 析	計 画 時
組織使命との相関性	2	3	事業推進員とのミーティング等で社協の使命と事業の位置付について協議した	職場検討会の中で組織チームが事業評価を検討中
目標設定度	3	3	データーを集める仕組みができなかった	データーを集める仕組みづくりを検討
目標の共有度	2	1	評価表の周知ができなかった	職場検討会の調整チームとて共有するよう努める
受益者ニーズの把握度	3	2	協力員への意向調査の実施ができなかった	昨年対象者の意向調査実施。協力員の意向調査を今年度実施予定
資源提供者の把握度	4	4	民協・町会・老人クラブ・消防・警察等機会を捕らえて連携した	民協・在介センター等と連携。今年度は町会等へも働きかける
住民参加のレベル			962/ × %	参加数量実績／対象人口×ターゲット割合
他資源との連携度	4	4	警察・消防・保健センター等の連携	保健所・学校との連携を図る
関連他事業との整合性	4	4	ふれあい訪問事業との相乗効果	ふれあい訪問事業との連動
業務進捗管理の妥当性	2	2	明確な進捗管理ができなかった	
事業の戦略性	3	2	経営資源を集中することができなかった	

■事業目標

中期目標	数値目標	達成率	評価	分 析
誰が(どこが)：ボランティアセンター 何を：しんじゅくまちかどネットワークへの年間延べ参加者(対象者と協力員) いつまでに：平成19年 どの程度まで：1.5倍程度	1,450人			【数量実績】 平成15年度 963人
				【成 果】
単年度目標	数値目標	達成率	評価	分 析
1. ひとり暮らし高齢者の年間参加実数の増加 2. 見守り協力員の年間参加実数の増加 3. 関係機関他地域資源との連携のための機会を1.5倍にする	700人	93.6%		【数量実績】 平成15年(14年度) 1. 655人(672人) 2. 308人(295人) 3. 7回(4回)
	350人	88.0%		【前年比】 ± %
	6回	116%		【成 果】

■収支分析

収 支 状 況	収入構造	区市町村受託金収入	18,246,142円	100%	
		区市町村補助金収入			
		寄付金収入			
		事業収入			
		その他収入 ()			
		収入合計	18,246,142円	100%	
		財源補填額 ()			
	支出構造	人件費支出	16,136,499円	88.4%	
		事務費支出	370,640円	2.0%	
		事業費支出	1,739,003円	9.5%	
		その他支出 ()			
		支出合計	18,246,142円	100%	
		剰余金額 ()			

指 標	事前目標	評 価	分 析
財源の安定度・効率性			

■事業執行内容に関する評価指標

指 標	事前目標	評 価	分 析	計 画 時
利用者満足度	3	4	アンケートから 不満 3.4% 満足度は 90%以上	
担い手満足度	3	3	協力員アンケートを実施 できなかったが民生委員・ 町会・老人クラブ等との懇 談での満足度は高い	協力員アンケートを実施 予定
事業の透明性・周知度	3	3	区データブックにも図 表化して掲載し、また色々 な機会を捕らえて周知し ているがまだまだ伝わっ ていない	
事業の先進性	4	4	住民同士の支え合いとし てボランティアによる見 守り活動を区内全域での 制度化は先駆的で、他区 からの問合せも多い	

受益者の声

H14年度対象者アンケートより

心強い 56.5%、 会話が楽しい・嬉しい 45.2%、 訪問続けて欲しい 43.3%
来られるのが負担・気が合わない 3.4%

分 析

付 随 効 果

協力員が活動を通して気づいた高齢者のニーズや状況変化から自主的な地域活動が生まれている。引きこもりがちな人や孤立しがちな人の外出機会の創出や仲間づくりの機会の必要性を感じ、協力員自ら「いきいきサロン」を立ち上げたり、地域行事等への参加を促し、近隣等との交流を図るなど介護予防、痴呆予防につながるとともに、地域住民が支えあう活動として、社会参加と自己実現の場の機会を提供している。

総合所見

--

次年度の課題等

事業終了後記入

管理者記入欄

記入者氏名

評価年月日

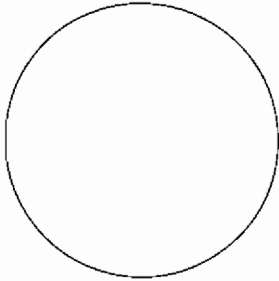
■経営戦略に関する評価指標

指 標	事前評価	評 価	分 析	計 画 時
組織使命との相関性		4	年度当初に、本事業を担当する部署の職員全体で整合性を確認した。その後、編集会議等において、毎号協議・検討を実施した。	
目標設定度		1	数値化する為の検討もしておらず、よってデータ収集も実施できなかった。	
目標の共有度		2	紙面の編集を1課職員のみで実施している為、必ずしも組織全体で目標を共有できているとは言い切れない。	
受益者ニーズの把握度		1	当初より課題として捉えていたが、誌面上での読者アンケート等の実施が行えなかった。	
資源提供者の把握度		4	課としての性質もあり、日ごろより多くの資源提供者と目される対象と接点を持っており、先方からの依頼等も常時受け入れる体制が取れている。	
住民参加のレベル		3	指標【掲載者(団体)数：59/福祉ガイド掲載施設・団体数：92×100=64.1%】	
他資源との連携度		4	まちの話題等の取材や、広告等で同業種以外の資源との連携ができた。	
関連他事業との整合性		4	他事業単独で実施した場合に比べて、廉価で最大限の広告効果もあり、掲載により、他事業の参加者も増加している。	
業務進捗管理の妥当性		—	事業実施にあたり、明確な目標設定をしていなかった為、評価困難。	
事業の戦略性		3	各号毎に誌面構成上、最大限の効果を引き出す内容となった。	

■事業目標

中 期 目 標	数値目標	達成率	評 価	分 析
誰が(どこが) : 何を : いつまでに : どの程度まで :				【数量実績】
				【成 果】
単 年 度 目 標	数値目標	達成率	評 価	分 析
				【数量実績】 年間発行部数 226,710部 (37,000~38,000部×6回)
				【前 年 比】 ± 7.5% 前年度発行部数 210,960部 (35,160部×6回)
				【成 果】 世帯数の増加に応じて発行部数は増となった。(なお、経費についても増加)

■収支分析

収 支 状 況	収入構造	区市町村受託金収入	2,375,000円	%	
		区市町村補助金収入	2,375,000		
		寄付金収入			
		事業収入			
		その他収入 ()			
		収入合計	4,750,000		
		財源補填額 ()	767,421		
	支出構造	人件費支出			
		事務費支出			
		事業費支出	5,517,421		
		その他支出 ()	12,000		
		支出合計	5,529,421		
		剰余金額 ()			

指 標	事前目標	評 価	分 析
財源の安定度・効率性		3	広報誌発行に係る経費は、市への依存度が高く、今後の財源確保については検討が必要。

■事業執行内容に関する評価指標

指 標	事 前 目 標	評 価	分 析	計 画 時
利用者満足度			(利用者を、市民全般として捉えるのか、掲載団体や個人として捉えるのか)	
担い手満足度	読み手にとって興味をひく誌面づくり。市民に役立つ情報の提供。	3		読者が見やすいレイアウト(縦書→横書中心)へ
事業の透明性・周知度	まず第一に社会福祉協議会の広報誌の存在を知ってもらう。	4	用紙を色付にした事で市報等と区別が付き、「まごころ＝緑色のもの」という市民への認知が広がった。	社協の広報PRの手段として、より市民の目にとまりやすい様に多角的な検討。
事業の先進性		4	効率的な情報提供の方法(インターネット等)もあるが、住民全般を対象とした場合、当面は現状の実施方法が望ましい。	

受益者の声

- ・周囲の人の認知度が低いので、多くの人に関心をもってもらえるような内容に。
- ・クロスワードパズルを解くのが楽しみ。
- ・社会福祉協議会が実施している事業等を知ることが出来る。
- ・「まごころ」は“私”と“福祉”を結ぶパイプ役です。
- ・ボランティア関係等知りたい情報がのって役立っています。
- ・「私の声」は毎号テーマがあり、市民参加という点でとても興味深い。
- ・全体として文字が多く、硬い言葉はわかりやすい表現に。
- ・社協の仕事内容や地域の中での役割等をもっとアピールしてはどうか。
- ・色がついたことにより、市報や公民館だよりと区別がついて良い。
- ・まごころカレンダーがわかりやすく良い。次回発行日も記載してみてもどうか。
- ・共募や歳末の募金の使い道を詳しく掲載してほしい。
- ・高齢者として、やがて訪れる生活の不安を「まごころ」が紹介してくれ、心やすまります。
- ・自分と社会との関わりはいくらでもあるということを思い知らされます。
- ・「伝言板」は、行事や講座の理解にとっても役立ちます。
- ・高齢者にとって役立つ事がたくさん載っている。
- ・地域の情報誌としての重要な役割を担っていると思います。
- ・情報量や内容がいまひとつ物足りない。ページ数を増やしてほしい。
- ・自分たちの団体がイベントをする時の広報に役立っています。毎回非常に反響があり、助かっています。
- ・「私の声」のテーマ設定がおもしろい。
- ・ボランティアのページで、障害者や高齢者自身の言葉（表現）があるともっとボランティアが身近に感じられるのではないか。
- ・社協の各部署の紹介や実施している様々なサービスの利用方法などを取り上げて欲しい。
- ・「私の声」の写真が親しみを感じさせてくれます。字の大きさと読みやすいレイアウトは評価できます。

【まごころ (NO.187 / 04.01.05.号) で実施したクロスワードパズル応募はがきより】

分 析

読者である誌面に関する意見や要望等を把握する点では、クロスワードパズルの応募はがきによるものしかなく、今後は誌面に料金後納はがきなどを組み込んで、読者（＝市民）の声を収集できる工夫も必要であると考えられる。定期的に意見調査等を実施していくことで、より市民のくらしに役立つ広報誌になっていくのではないかと。今回は賞品があったために記名制だったので、意見調査単独での実施が望ましいと考える。

意見の中には、具体的な要望から社協の広報誌として果たすべき役割まで幅広い市民の声が寄せられたが、前述したような理由から、肯定的な意見が多いのが目立つ。

市民の意見を反映させながらも、掲載内容を十分に検討し、本来の事業目的にそった事業展開をしていくことが重要であると考えられる。

付 随 効 果

取材や、私の声を通じて関係が生まれた人や団体と、別の行事や事業運営にあたっての連携（協力）が出来ると共に、必要に応じたマンパワーの確保も可能である。

総合所見

次年度の課題等
<ul style="list-style-type: none">・ 広報委員会の機能について。・ 誌面に市民の声を取り入れるためのアンケートの実施の検討。・ 広報誌発行にあたって、事業目標や指標の設定を行い、組織全体で共有していく。

事業終了後記入

管理者記入欄

記入者氏名

評価年月日